

企業訪問 資源循環レポート

大昭工業（株）

社会的静脈インフラを とぎれさせない環境サービス業

大昭工業（株）



本社社屋

大昭工業 株式会社

■代表者／木村 諭意智

■所在地／名古屋市西区清里町18番地

TEL 052-503-5311 FAX 052-503-0115

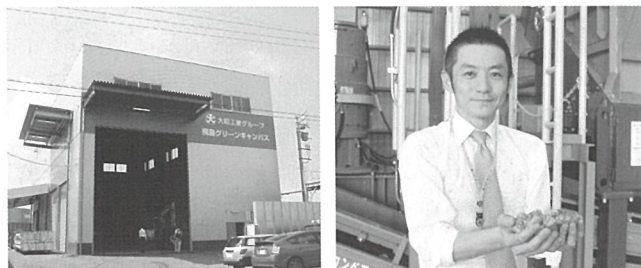


総務課長 松尾氏（左）と木村社長（右）

昭和40年に創業、長年にわたり廃棄物の収集・運搬を行い、大型商業施設や教育機関から出る一般ごみ・資源ごみから工場や病院から出る産業廃棄物や特殊なものまで、ありとあらゆる廃棄物を収集しています。また浄化槽の掃除、水回りの管理にも対応して海や川を汚水から守るための生活環境の維持に努める大昭工業（株）代表取締役 木村諭意智氏と管理部総務課長 松尾康平氏にお話しを伺いました。

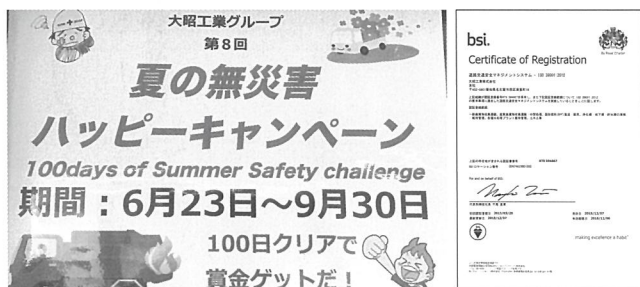
■飛島グリーンキャンパス

これからの低炭素社会を見据えエネルギーサプライヤーとして、平成22年よりRPFを製造する自社工場「飛島グリーンキャンパス」を運営しています。RPFは、発生履歴が明らかな産業廃棄物や、選別された一般廃棄物を原料として使用しているため、乾燥などの前処理が不要で製造プロセスが簡単になるという利点があります。製造のエネルギー消費量が少なく、品質の安定した高カロリーの燃料が製造でき代替化石燃料としてCO₂削減につながり、お客様へコストダウンの提案もできる取り組みです。



■安全衛生への取組

同社は廃棄物や資源物を確実に目的地まで運搬し処理する静脈物流であり、産業基盤の形成を支える重要な社会インフラだと自負しております。事故によるトラブルはお客様に迷惑をかけてしまうばかりか環境負荷も大きくなるため、交通事故撲滅に注力しております。客観的に活動を評価していただくためにも、道路交通安全マネジメント国際規格ISO 39001の認証を取得し、年1回安全大会/安全研修、KY活動、リスクアセスメントを行い、労働安全衛生管理策を定めています。



■水環境への取組

水環境管理における長年の経験を生かし、高度な技術と専門知識で海や川を守り快適な街づくりのお手伝い、生活環境の維持に努めております。浄化槽管理や工事管理は公的資格が必要なため、継続的に技術者を育成しております。



■環境サービス業

木村社長は「弊社は廃棄物の収集運搬と処分、浄化槽の清掃と管理他を行っておりますが、廃棄物の適正処理、水処理で環境衛生や保全をすることが当たり前だということからのスタートなのです。社会的静脈インフラを担う業界としてのプライドを持ち、それを途切れさせることなく、当り前のクオリティを維持することにとっても気をつけています。そのためにも自慢できる会社であり、自慢できる業界でありたいと考えています。地球環境について世界レベルで取組む現代において、環境ビジネスは活性化すると予感していますので、私は国を越えて需要があればどこにでも進出する準備ができています。一緒に冒険できる仲間が欲しいと思っています!」と語りました。



災害時の廃棄物処理で協定

名古屋市浄化槽協議会（木村諭意智会長）名古屋市との間で締結している『災害時における廃棄物の処理に関する協定書』の内容を更新しました。木村会長は「災害発生時において、ライフライン（浄化槽、下水道）が機能しなくなった場合はプロとして全力で支援します。」と述べ、名古屋市環境局からは「名古屋市浄化槽協議会は、東日本大震災が起きる以前という早い段階から協定を結んでいただいて感謝しております。災害時には本市の廃棄物処理にぜひご協力をお願いします。」と感謝の言葉を述べました。

5/28 循環経済新聞

